

Sekisui Fuller vs Henkel

製品	GA8810-E	GA3980 ULTRA
評価温度	180℃	180℃
色相 ¹⁾	チタン白色	チタン白色
溶融粘度 ²⁾ (mPa.s)	160℃	6,425
	170℃	5,000
	180℃	4,000
軟化点 ³⁾ (℃)	111	101
オープンタイム ⁴⁾ (秒)	26	60
セットタイム ⁵⁾ (秒)	10	24
P A F T ⁶⁾ (℃)	71	70
低温可撓性 ⁷⁾ (℃)	-18	-6
引張り強さ ⁸⁾ (N/cm ²)	709	820
切断時の伸び ⁸⁾ (%)	975	888

【試験方法】

- 1) … 23℃にて目視による。 2) …ブルックフィールド粘度計による。 3) …環球法 (R & B) による。
- 4) … 雰囲気温度20℃の条件下で弊社標準段ボール基材に、ホットメルトを各温度、2g/mにてビード塗布し、圧縮するまでの時間を1秒間隔で変え、圧縮圧7.8kPa (2kgf/25cm²)、圧縮時間2秒にて貼り合わせを行い、試験片を作成した。これを20℃雰囲気下で1時間放置した後、試験片を剥離し材破率80%以上となる最長の秒数 (オープンタイム) を測定した。
- 5) … 雰囲気温度20℃の条件下で弊社標準段ボール基材に、ホットメルトを各温度、2g/mにてビード塗布し、圧縮時間を0.5秒間隔で変え圧縮するまでの時間を2秒、圧縮圧7.8kPa (2kgf/25cm²) で貼り合わせを行い剥離した際、材破率80%以上となる最短の秒数 (セットタイム) を測定した。
- 6) … クラフト紙(70g/m²)に溶融したホットメルトを幅25mm、250μm厚に塗布し、直ちに別のクラフト紙に貼り合わせし25mm幅にカットして試験片とする。これの剥離方向に100gの静荷重をかけ、周囲温度を25℃/時間の割合で昇温させ何℃で錘が落下するかを測定。
- 7) … 厚さ1mmのホットメルトフィルムを作成し、屈曲試験器を用いて180°折り曲げて何℃でフィルムが割れるかを測定。
- 8) … ダンベル状ホットメルトを作成し、引張り試験機にて切断に至る最大応力 (強度) 及び切断時の伸びを測定。ただし、ダンベル形状は3号形とし、引張り速度は100mm/分とする。